

4. 里山と犬飼池

- ポテンシャル
 - キャンパス中央に広がる里山と犬飼池の自然は、キャンパスの重要な財産である

- 現状の問題
 - アクセシビリティが低く、今ある散策路も利用度合いは高くない
 - 調整池周辺などは雑草が生い茂り、景観を損ねている部分がある

- 整備方針
 - 里山と犬飼池及びその周辺を、自然公園として整備し、大学関係者だけでなく、周辺住民も気軽に訪れる憩いの場所として整備する

3. キャンパスエッジの緑地帯

- ポтенシャル
 - キャンパスを取り囲むように広がる緑地帯は、キャンパスの景観を豊かなものにする重要な要素である
 - 周辺住宅地に緑を提供すると共に、緩衝帯としても機能している

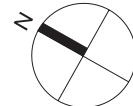
- 整備方針
 - 緑地帯に対する意識を高め、積極的に保全に努める

2. 工学部ゾーン

- ポтенシャル
 - キャンパスの中で最も古いエリアであり、時代を感じさせる建築群は近代建築の特徴をよくあらわしたものである
 - 複雑に入り組んだ施設配置が多様な屋外空間を形成しており、親密感のあるオープンスペースとして活用することができます

- 現状の問題
 - 施設、屋外共にメンテナンスが十分なされておらず、「古い=汚い」という印象を与えている
 - 長い年月をかけて育った植栽が生い茂っており、薄暗くて入りにくい印象を与える場所がある。また植栽部分の整備も十分でない
 - ただでさえ細かく分節されている屋外空間を、更に植栽で遮断していく傾向があり、一層狭苦しい印象を与えていている
 - 人が多く集まるオープンスペースが少ない

- 整備方針
 - 施設や屋外空間の特性を踏まえた、保全・再生活用を進める。また植栽の修景にメリハリをつけ、開けるところは大きく開けて広場をつくる



1:6000

0 50 100

200 300 400 500m

5. モノレール下キャンパスエッジ

■ポテンシャル

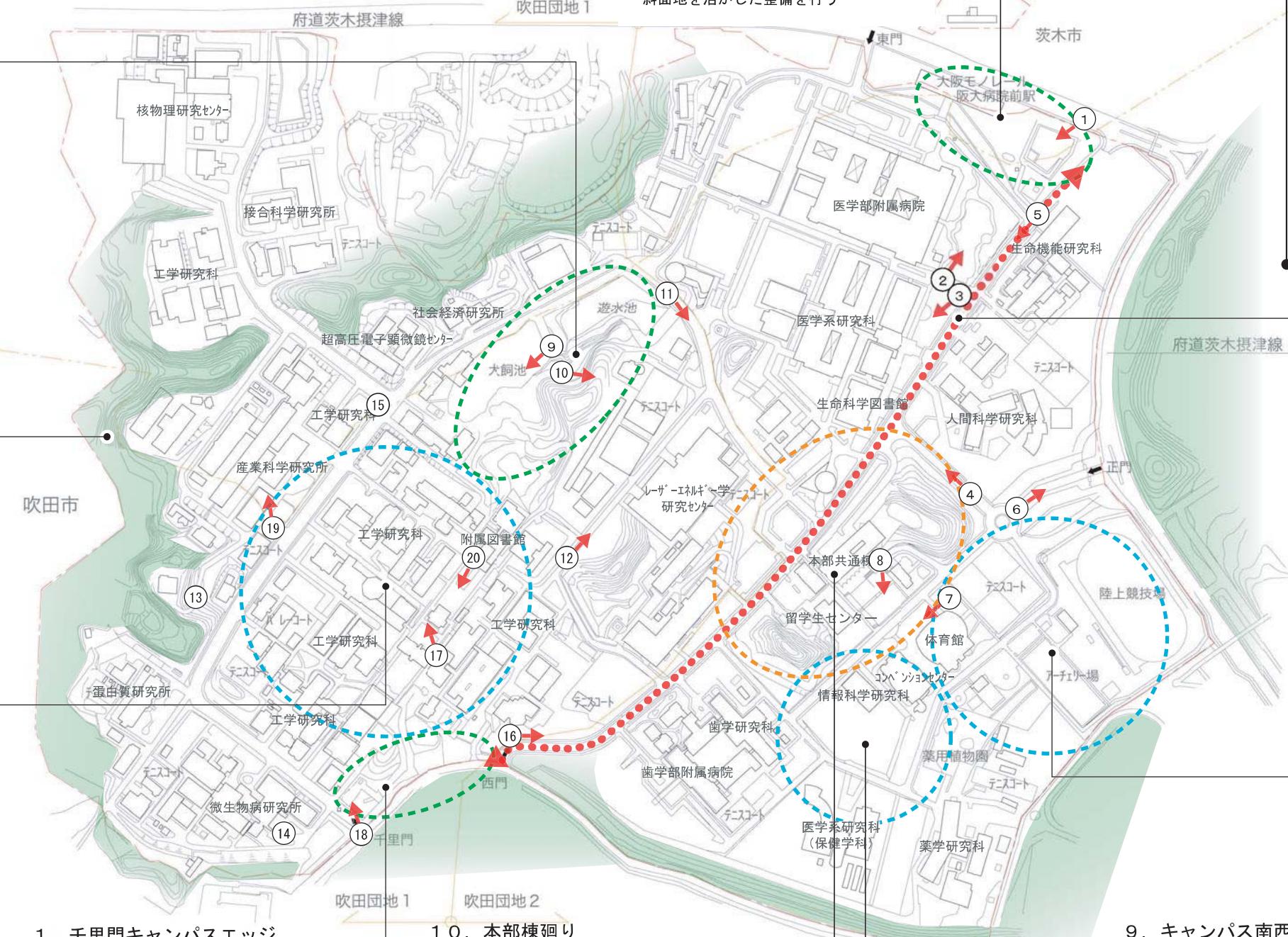
- モノレール駅下から南に広がる広大な窪地は、キャンパスの印象を大きく左右する、重要なキャンパスエッジとして位置づけられる
- 周辺住民の生活環境に与える影響も大きい

■現状の問題

- 窪地や調整池はほとんど未整備の状態で、病院の偉容やホスピタルパークとのギャップが著しい

■整備方針

- キャンパス内外の景観に配慮した整備を進める
斜面地を活かした整備を行う



1. 千里門キャンパスエッジ

■ポテンシャル

- 北千里方面におけるキャンパスの顔である
- GSE棟整備との相乗効果で、飛躍的な景観向上をはかることができる
- 千里北公園の池と緑が隣接している

■現状の問題

- キャンパスの顔としての魅力に乏しい
- 調整池や駐輪場などが景観を損ねている
- 自転車、バイクが溢れだし、近隣に与える印象がよくない

■整備方針

- 自然に囲まれたキャンパスの顔として相応しい整備を行い、自転車・バイク問題の解決をはかる

10. 本部棟廻り

■ポテンシャル

- 本部棟、バスロータリー、福利厚生施設、またコンベンションセンターや体育館など、機能・交通・アメニティ、交流といった諸活動の、あらゆる面での中核施設が集中している
- 本部棟が建つ里山を始め、東西通りの並木やコンベンション前の芝生広場など、緑にも恵まれている

■現状の問題

- 中核施設が集中しているわりには求心性が低く、全体に散漫な風景である
- 機能的にはキャンパスのセンターであっても、大学のシンボル空間としてのセンターとはなり得ていない

■整備方針

- 吹田キャンパスのシンボル空間として、ひとつの統一的な場所、魅力あるセンターを創出する

6. 万博公園の存在

■ポテンシャル

- キャンパスに隣接してEXPO70の跡地があることは、吹田キャンパス独自の大きな立地特性である
- 自然公園の豊かな緑はキャンパスに潤いを与えてくれる

■現状の問題

- キャンバスから万博公園へのアクセスが悪い。ルートはあるのに整備が不十分で、十分活用されていない
- 万博公園に面したキャンパスエッジには駐車場や競技場が広がり、公園の緑をキャンバス内に取込めていない

■整備方針

- リフレッシュや来客者の室内に、気軽に万博公園へアクセスできるようルートを整備する。また公園の緑をキャンバス内に導き入れるような景観誘導をはかる

7. 東西通

■ポтенシャル

- キャンバス中央を貫く直線道路である
- 医学部、人科、本部、歯学部、工学部に面する
- 公共バスの停留所、ロータリーがある
- 並木、後背面の緑がほぼ連続しており、施設の壁面後退が大きくとられている箇所が多い

■現状の問題

- 並木は連続しているが、後背面の整備状況が場所によってバラバラで、全体の統一感に欠ける
- 場所によっては廃棄物置場のバラック的建物や設備機器が道路沿いにみえたり、整備の十分でない広場・空地などがあって景観を損ねている
- 交差点のバンブなど、機能優先で景観に配慮されていないイメージがある

■整備方針

- メインストリート、シンボルストリートとして、景観や歩行者のアメニティに配慮した整備推進をはかる

8. 課外活動ゾーン

■ポтенシャル

- 競技場、体育館をはじめ、スポーツ施設が集中しているゾーンである
- 学部間の交流が薄いと指摘される吹田キャンパスにあって、クラブ活動を中心とした学生達の日常的な交流拠点となっている

■現状の問題

- 施設や周辺環境の整備や管理が十分とはいえない
- 荒地のような場所も見受けられる
- 吹田キャンパスには文化系のクラブ活動などを支援する施設がない

■整備方針

- 学生のクラブ活動やボランティアを支援する施設や環境を整備し、キャンパス交流の活性化をはかる

凡例

⑧ 次頁写真キープラン